



学校だより

第436号
横浜市立みたけ台中学校
令和5年4月7日

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

学校教育目標：めざします！生き生きと楽しく笑顔あふれる学舎（まなびや）を！！

令和5年度がスタートします。どうぞよろしくお願ひいたします。

校長 羽田 敏隆



みたけ台中学校を始め、長きにわたって生徒たちの教育活動に尽力された小林 誠 校長に代わりまして、この4月よりみたけ台小学校より着任いたしました羽田 敏隆（はだ としたか）と申します。4年ぶりに中学校に復帰いたしました。保護者の皆様・地域の皆様にご協力いただきながら、生徒たちの成長のために頑張っ

てまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

令和5年度は、新入生89名を新たに迎え、新2年生97名、新3年生89名、全校生徒275名でスタートしました。新学年への新たな希望や期待と、学習や友人関係などの漠然とした不安とが入り混じるこの時期。この気持ちをしっかりと受け止め、保護者の皆様と連携を取りながら子どもたちを支えていきたいと思ひます。



花壇の花が生徒を明るく迎えます



私は、小学校の校長を4年間経験してきました。小学生にも中学生にも共通していることのひとつが、子どもは個々の差こそあれ、着実に成長していくこと。

できなかったことが少しずつできるようになり、得意なことで素晴らしい成果を発揮したり、自分に自信をもつ

ことで子どもはさらに伸びていきます。その可能性は無敵大です。

みたけ台中学校の教職員は、大切な宝である子どもたちをいろいろな角度から見て、ひとりひとりの可能性を引き出すように支えていきます。ほめること、頑張り認めることを大切にしながら、間違っていることは正しい理解ができるようにきちんと伝えていきます。

そして、子どもの教育のベースは家庭であることは言うまでもありません。学校と家庭、しっかりと連携していきましょう。思春期の中学生の時期は、自分に向き合ってくれる大人の存在が不可欠です。成長・発達段階に応じて、小学校とはまた違った、保護者や教職員の関わりを大切にしていきたいと思います。

アメリカンインディアンの教えの
“子育て四訓”を紹介します
「乳児は、しっかり、肌を離すな」
「幼児は、肌を離せ、手を離すな」
「少年は、手を離せ、目を離すな」
「青年は、目を離せ、心を離すな」

状況や必要によっては「特別支援教育総合センター」「区役所」「児童相談所」「警察」など、子どもの健全育成に関わる機関との連携・協力も必要になります。社会の仕組みを活用し、保護者も学校も地域社会も含めた「みんなで」子どもたち「みんなを」育んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

<校庭も春爛漫です>



昨年度、5・6・7組の生徒が校庭のフェンス沿いに作った花壇や金木工室裏の花壇が、暖かな4月を迎え、豊かに花を咲かせています。

冬が来る前に植えたチューリップの球根の他に、昨年度は、「花いっぱい運動」でプランターに植えられなかった苗をフェンス沿いに、卒業式で会場を飾った鉢植えを金木工室裏に植え替えました。例年、鉢植えのまま短い期間で盛りを終えてしまっていた卒業式の花々ですが、花壇に植え替えることで、元気に長く楽しむことができます。これも、5・6・7組で取り組んできたSDGsの取組のひとつです。

PTAの皆様が「花いっぱい運動」で植えてくださった球根も、正門や体育館周りのプランターで花開いています。

今年は桜の開花が早く、7日には盛りを過ぎてしまいました。おかげで、たくさんの花に迎彩られた始業式・入学式を迎えることができました。

<味工房注文ポストが完成しました>

4月10日（月）から、業者弁当（味工房）の注文方法が変わります。

◎注文方法

- 専用封筒に日付、注文内容を記入し、お金を入れ（おつりがないように）、専用ポストに入れます。
- 8：40までにポストに入れます。8：40を過ぎてポストに入れても、注文になりません。時間を守って注文しましょう。

新2・3年生の希望者には、3月に封筒を職員室にて配布しました。

注文に使うポストは、5・6・7組の皆さんが、授業で制作しました。大きさや形を考え、また、集金に来た業者の方が使いやすいように、と工夫しました。5・6・7組は、今年度は1クラス減り、5・6組として学習活動に取り組んでいきます。

職員室付近に設置予定です⇒

